

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第3区分
【発行日】平成20年4月24日(2008.4.24)

【公開番号】特開2007-144624(P2007-144624A)
【公開日】平成19年6月14日(2007.6.14)
【年通号数】公開・登録公報2007-022
【出願番号】特願2007-65686(P2007-65686)
【国際特許分類】

B 2 3 D 55/06 (2006.01)

B 2 3 D 55/08 (2006.01)

【F I】

B 2 3 D 55/06

B 2 3 D 55/08 L

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月6日(2008.3.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

駆動ホイール(29)と従動ホイール(31)とに掛回したエンドレス状の帯鋸刃(13)によってワーク(W)の切断を行うとき、前記駆動ホイール(29)を回転するためのモータ(37)と前記従動ホイール(31)を回転するためのモータ(39)にそれぞれ逆位相のパルスを印加してワーク(W)の切断を行うことを特徴とする帯鋸刃によるワークの切断加工方法。

【請求項2】

駆動ホイール(29)と従動ホイール(31)とに掛回したエンドレス状の帯鋸刃(13)を備えた帯鋸盤であって、前記駆動ホイール(29)を回転するためのモータ(37)と、前記従動ホイール(31)を回転するためのモータ(39)と、前記両モータ(37, 39)に逆位相のパルスを印加するためのパルス印加手段を備えていることを特徴とする帯鋸盤。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明は、前述のごとき問題に鑑みてなされたもので、駆動ホイール(29)と従動ホイール(31)とに掛回したエンドレス状の帯鋸刃(13)によってワーク(W)の切断を行うとき、前記駆動ホイール(29)を回転するためのモータ(37)と前記従動ホイール(31)を回転するためのモータ(39)にそれぞれ逆位相のパルスを印加してワーク(W)の切断を行うことを特徴とするものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また、駆動ホイール(29)と従動ホイール(31)とに掛回したエンドレス状の帯鋸刃(13)を備えた帯鋸盤であって、前記駆動ホイール(29)を回転するためのモータ(37)と、前記従動ホイール(31)を回転するためのモータ(39)と、前記両モータ(37, 39)に逆位相のパルスを印加するためのパルス印加手段を備えていることを特徴とするものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】